

## 麦類赤かび病に関する情報(第2報)

平成 30 年 4 月 5 日

香川県農業試験場病害虫防除所

麦類の赤かび病は、開花期頃の気温が高く、高湿度の日が連続すると多発生しやすくなります。このため、**防除時期は開花始めの頃とその7~10日後**となっています。

今後の一週間の気象については、**気温は期間のはじめと終わりは平年より高く、期間の中頃は平年並か低い予報です。降水量は平年並の見込みです。**

麦の開花期は圃場ごとに異なるので、防除時期も圃場ごとに異なります。さらに、開花期からの気象経過を考慮して防除回数を増減する必要がありますので、栽培しおり等を参考にして適期に防除しましょう。

### 1. 麦類の生育状況

- 1) 農業試験場におけるはだか麦‘イチバンボシ’の開花期は、11月上旬播種が4月4日、11月中旬播種の予想開花期が4月8日で、**平年より1日程度遅く**なると予想されます。また、小麦‘さぬきの夢2009’の11月上旬播種の予想開花期は4月17日で、**平年より1日程度遅く**なると予想されます。(表1：農業試験場作物・特作部門調べ)
- 2) 農業改良普及センター調べでは、地域により差があるものの、はだか麦、小麦ともに生育ステージは**平年と同程度か遅く**なっています。3月28日時点で、はだか麦の11月上旬播種では出穂しているところがあります。

表1 麦類の出穂及び開花の状況(農業試験場作況試験圃場：綾川町)

麦種	品種	播種期	出穂期		開花期 <sup>注2)</sup>	
			平年値	本年 <sup>注1)</sup>	平年値	本年 <sup>注1)</sup>
はだか麦	イチバンボシ	11月上旬	3月27日	3月29日	4月3日	4月4日
		11月中旬	3月31日	4月2日	4月7日	4月8日(予)
		12月上旬	4月6日	4月7日(予)	4月15日	4月14日(予)
小麦	さぬきの夢2009	11月上旬	4月2日	4月5日	4月16日	4月17日(予)
		11月中旬	4月7日	4月10日(予)	4月20日	4月22日(予)
		12月上旬	4月17日	4月19日(予)	4月27日	4月29日(予)

注1) (予)を付して赤字で示した日付は、綾川町における予想値である。(4月5日時点)

注2) 開花期は40~50%の穂が開花した時期を示す。

### 2. 気象経過と赤かび病発生条件の出現状況(別表を参照)

- 1) 高松市アメダスでは、本年は子のう胞子の飛散条件を満たす日は認められていませんが、4月6日以降は最高気温が20℃以上、最低気温が10℃程度があると予想されますので、降雨を伴うと赤かび病の発生に好適な気象となるおそれがあります。
- 2) 気象庁発表(四国地方)の4月12日までの週間天気予報では、**最高気温、最低気温はともに、期間のはじめと終わりは平年より高く、かなり高い日がある見込みで、期間の中頃は平年並か低い**と予想されています。**降水量は平年並**の見込みです。

### 3. 防除情報

- 1) 現在、赤かび病に適用のある薬剤は、発病前に散布しないと防除効果がないため、**開花始期には必ず防除**を実施しましょう。特に**11月中旬～12月上旬播きのはだか麦**は、開花期が病気の発生に好適な条件(気温が高く高湿度)となるおそれがありますので、早めに防除しましょう。
- 2) 気象と開花状況に注意しつつ、追加防除の時期を決めましょう。

表2 赤かび病の防除時期、防除薬剤等

	防除時期	防除薬剤	希釈倍数	使用時期／回数
1回目	開花始め頃	トップジンM水和剤	1,000～1,500 倍	小麦 14／2 はだか麦 30／1
2回目	1回目の7～10日後	ワークアップフロアブル	2,000 倍	小麦 7／3 はだか麦 7／3

(資料:小麦、はだか麦の栽培しおり。希釈倍数、使用時期／回数は平成 30 年 3 月 31 日現在)